月 例 統 計 報 告 (令和7年5月)

令和7年6月12日 企 画 振 興 部

1 秋田県の人口(秋田県の人口と世帯(月報) (令和7年5月1日現在))		1
本県の総人口は、884,340人(男 418,405人 女 465,935人)		
前月に比べ、 537人 (0.06%) 減少		
自然増減 1,173人 の減少(出生者 232人 死亡者 1,405人)		
社会増減 636人 の増加(県内への転入者 2,179人 県外への転出者 1,543人)	
この1年間では、17,107人(1.90%)の減少		
2 秋田県経済の動き		
(1) 製造業の生産動向 (鉱工業生産指数月報(令和7年3月分))		2
秋田県鉱工業生産指数(平成27年=100)		
季節調整済指数 107.6 : 前月比 0.1%低下(4か月ぶりの低下)	
原指数 110.5 : 前年同月比 6.1%上昇		
全国の鉱工業生産指数(令和2年=100)		
季節調整済指数 102.4 : 前月比 0.2%上昇		
(2) 雇用·労働情勢 (毎月勤労統計調査地方調査結果速報(令和7年3月分))		3
賃金、労働時間及び雇用の動き [事業所規模5人以上] 対前年比(前月比)は指数により算出		O
現金給与総額 273,674円 : 前月比 10.3%增、前年同月比 7.7%增		
総実労働時間 140.8時間 : 前月比 1.1%増、前年同月比 1.1%減		
常用雇用指数 98.1 (令和2年=100)		
: 前月比 0.5%減、前年同月比 0.4%増		
(3)物価動向 (消費者物価指数(令和7年4月分))		4
秋田市消費者物価指数 113.2 (2020年=100)		1
前月比0.1% 上昇、前年同月比 2.9%上昇		
前月に0.1% 工弁、前年向月に 2.9%工弁 全国の消費者物価指数 111.5 (2020年=100)		
前月比(季節調整値) 0.1%上昇、前年同月比 3.6%上昇		
(4) 景気動向(秋田県景気動向指数(令和7年3月分)		5
先行指数 113.7 前月を2.8ポルト上回り、2か月ぶりに上昇		
一致指数 83.7 前月を0.9ポイント下回り、2か月連続で下降		
遅行指数 104.4 前月を5.0ポイント上回り、3か月連続で上昇		
3 景況ダイジェスト(県内・東北・全国)	($6 \sim 7$

1 秋田県の人口(「秋田県の人口と世帯(月報) (令和7年5月1日現在)」)

(1) 令和7年5月1日現在 の本県の総人口は 884,340人(男 418,405人 女 465,935人) となり、前月に比べ 537人 (0.06%)の減少となった。

自然増減 1,173人 の減少(出生者 232人 死亡者 1,405人)

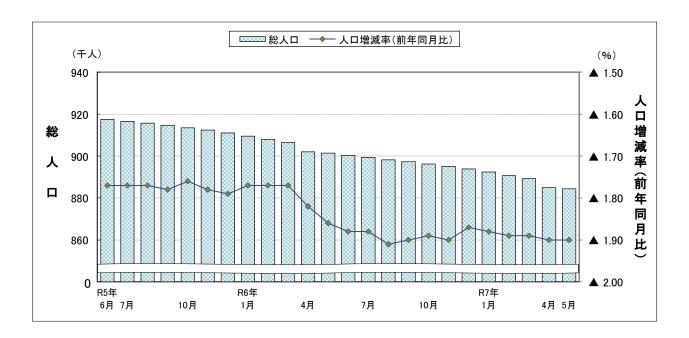
社会増減 636人 の増加(県内への転入者 2,179人 県外への転出者 1,543人)

(2) この1年間では、 17,107人(1.90%)の減少となった。

自然増減 14,117人 の減少(出生者 3,150人 死亡者 17,267人)

社会増減 2,990人 の減少(県内への転入者 11,605人 県外への転出者 14,595人)

(3) 世帯数は 383,125世帯 となり、前月に比べ 1,130世帯 の増加となった。



〇自然増減と社会増減の推移

		自然 増	減		減	人口増減	
年 月	出生	死亡	自然増減	転入	転出	社会増減	=自然増減
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	+社会増減
2024年 4月	302	1, 577	▲ 1, 275	2, 325	1, 663	662	▲ 613
5月	292	1, 444	▲ 1, 152	842	839	3	▲ 1, 149
6月	211	1, 183	▲ 972	707	719	▲ 12	▲ 984
7月	323	1, 283	▲ 960	918	1, 075	▲ 157	▲ 1, 117
8月	286	1, 332	▲ 1, 046	913	778	135	▲ 911
9月	287	1, 340	▲ 1, 053	771	779	▲ 8	1 , 061
10月	291	1, 461	▲ 1, 170	748	717	31	▲ 1, 139
11月	244	1, 477	▲ 1, 233	634	579	55	▲ 1, 178
12月	261	1, 564	▲ 1, 303	584	799	▲ 215	▲ 1, 518
2025年 1月	244	1, 869	▲ 1,625	572	682	▲ 110	▲ 1, 735
2月	227	1, 406	▲ 1, 179	721	903	▲ 182	▲ 1, 361
3月	252	1, 503	▲ 1, 251	2, 016	5, 182	▲ 3, 166	4 , 417
4月	232	1, 405	▲ 1, 173	2, 179	1, 543	636	▲ 537
直近1年間の累計 (2024. 5~2025. 4)	3, 150	17, 267	▲ 14, 117	11, 605	14, 595	▲ 2, 990	▲ 17, 107

(参考)

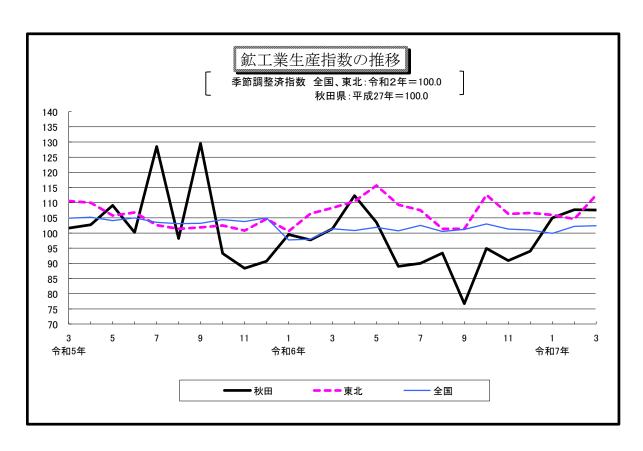
2023.5~2024.4の累計	3, 540	17, 903	1 4, 363	12, 052	14, 749	▲ 2, 697	1 7, 060
------------------	--------	---------	-----------------	---------	---------	-----------------	-----------------

2 秋田県経済の動き

(1)製造業の生産動向(「秋田県鉱工業生産指数月報(令和7年3月分)」)

令和7年3月の秋田県鉱工業生産指数は、季節調整済指数が107.6(前月比0.1%減)となり、4か月ぶりに低下した。また、原指数は110.5となり、前年同月と比べ6.1%の上昇となった。

なお、全国の季節調整済指数は102.4となり、前月比で0.2%の上昇となった。また、東北は112.6となり、前月比で7.6%の上昇となった。



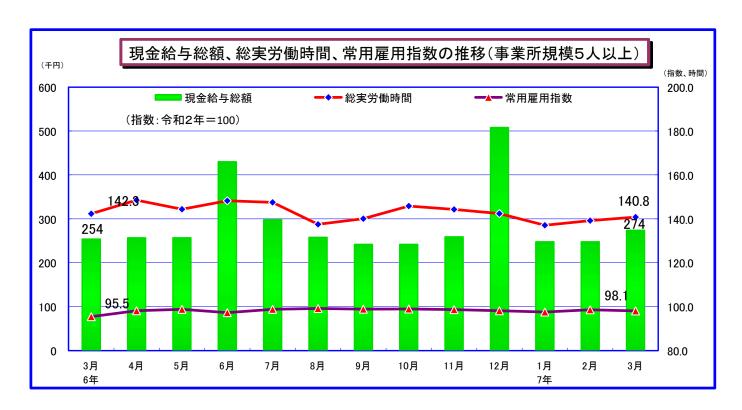
○主な増減要因(季節調整済指数 平成27年=100.0)

業種名	指数值	前月比(%)	主な品目名
□上昇した主な業種			
生産用機械工業	117.0	44.8	その他の特殊産業用機械
金属製品工業	81.3	28.4	鉄骨
<u>鉄鋼·非鉄金属工業</u>	67.6	7.6	亜鉛
□低下した主な業種			
化学工業	112.6	▲ 10.0	医薬品原薬
パルプ・紙・紙加工品工業	56.1	▲ 28.4	段ボール原紙
窯業·土石製品工業	70.5	▲ 6.9	光学用ガラス素地

※影響度の大きい順に並べたものである。

(2) 雇用·労働情勢(「毎月勤労統計調査地方調査結果速報(令和7年3月分)」) (※賃金、労働時間及び雇用の動き〔事業所規模5人以上〕 対前年比(前月比)は指数により算出)

令和7年3月の現金給与総額は273,674円となり、前月比で10.3%の増、前年同月と比べ7.7%の増となった。 総実労働時間数は140.8時間となり、前月比で1.1%の増、前年同月と比べ1.1%の減となった。 常用雇用指数は98.1となり、前月比で0.5%の減、前年同月と比べ0.4%の増となった。



〇産業別動向(事業所規模 5人以上)

1 現金給与総額

1 70 ME THE D THURSE		
増加した産業(上位3つ)	金額(円)	前年比(%)
建設業	451,839	45.7
情報通信業	385,340	25.7
金融業, 保険業	331,817	16.7
減少した産業(上位3つ)	金額(円)	前年比(%)
複合サービス事業	286,784	▲ 6.9
宿泊業、飲食サービス業	106,283	▲ 6.2
学術研究、専門・技術サービス業	340,182	▲ 4.0

3 常用雇用指数

増加した産業(上位3つ)	指数	前年比(%)
情報通信業	97.8	24.0
生活関連サービス業、娯楽業	107.7	14.0
宿泊業、飲食サービス業	102.1	7.0
減少した産業(上位3つ)	指数	前年比(%)
製造業	99.7	▲ 3.6
サービス業(他に分類されないもの)	101.2	▲ 2.3
卸売業, 小売業	96.0	1 .0

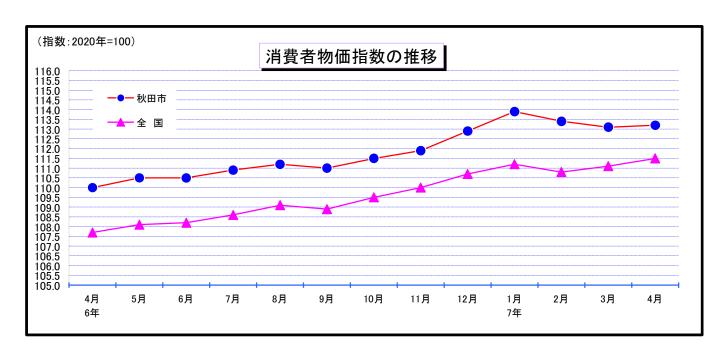
2 総実労働時間

増加した産業(上位3つ)	時間	前年比(%)
教育, 学習支援業	147.5	13.8
金融業, 保険業	148.1	10.6
サービス業(他に分類されないもの)	134.5	3.1
減少した産業(上位3つ)	時間	前年比(%)
運輸業, 郵便業	171.0	▲ 13.8
宿泊業、飲食サービス業	85.7	▲ 13.3
卸売業, 小売業	125.4	▲ 4.9

(3) 物価動向(「消費者物価指数(令和7年4月分)」)

令和7年4月の秋田市消費者物価指数は113.2(2020年=100)となり、前月比で0.1%の上昇、前年同月比で2.9%の上昇となった。

なお、全国の消費者物価指数は111.5となり、前月比(季節調整値)で0.1%の上昇、前年同月比で3.6%の上昇となった。



10大費目指数の動き(2020年=100):秋田市

	総合				食 料			住 居	光 熱・水 道	家 具・ 家 事 用 品	被服及 び 履物	保健医療	交 通・ 通 信	教育	教 養 娯 楽	諸雑費
		生鮮食品を 除く総合	びエネル ギ ー を	食料 (酒類 を除く)及び エネルギー を除く総合		生鮮食 品	生鮮食 品を除く 食料									
当月指数	113.2	112.2	110.3	105.7	125.1	132.3	123.5	107.0	121.8	122.8	114.4	104.6	99.9	88.5	116.0	105.5
前月比(%)	0.1	0.4	0.1	0.0	▲ 0.4	▲ 5.4	0.9	0.0	3.0	0.8	0.9	▲ 0.1	0.3	▲ 11.9	0.7	▲ 0.6
前年同月 比(%)	2.9	3.0	2.1	0.7	5.0	2.5	5.7	0.5	9.0	1.8	2.3	2.2	2.4	▲ 11.6	1.2	0.7

総合指数の前年同月比に寄与した主な内訳

[上昇]

10大費目	中分類	前年同月比	寄与度
食 料	穀類	16.3	0.36
光 熱・水 道	電気代	12.5	0.47
交 通・通 信	自動車等関係費	3.1	0.30

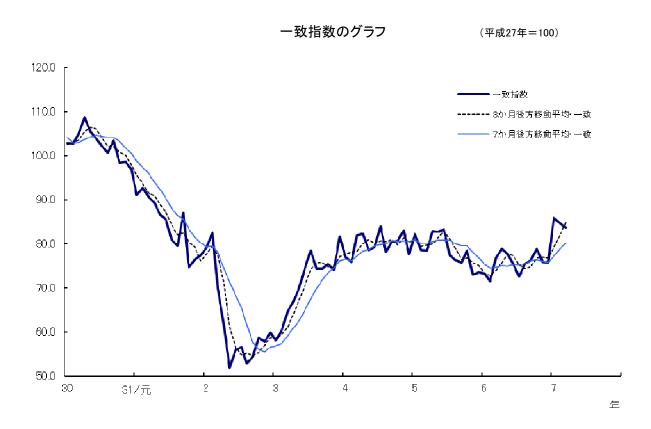
[下落]

10大費目		中分類	前年同月比	寄与度
教	育	授業料等	▲20.3	▲0.24

※寄与度とは、その費目が総合指数の変化率のうち何ポイント寄与したかを示すものである。

(4) 景気動向(「秋田県景気動向指数(令和7年3月分)」)

先行指数 113.7 前月を 2.8ポイント上回り、2か月ぶりに上昇した。 一致指数 83.7 前月を 0.9ポイント下回り、2か月連続で下降した。 遅行指数 104.4 前月を 5.0ポイント上回り、3か月連続で上昇した。



〇一致指数採用系列の前月比較

系 列 名	前月	今月	対前月増減	寄与度
有効求人倍率(倍)	1.23	1.25	0.02	1.15
雇用保険受給者実人員(逆)	1.2	3.7	2.50	▲ 0.51
鉱工業生産指数(H27年=100)	107.7	107.6	▲ 0.09%	▲ 0.14
生産財生産指数(H27年=100)	93.4	90.2	▲ 3.43%	▲ 0.86
百貨店・スーパー販売額	▲ 0.4	1.5	1.90	0.48
新車販売台数(台)	2,931	2,599	▲ 11.33%	▲ 2.17
投資財生産指数(H27年=100)	101.2	113.1	11.76%	1.59
建築着工床面積(非居住用)(㎡)	12,007	9,685	▲ 19.34%	▲ 0.35
秋田空港利用者数(人)	105,052	105,451	0.38%	▲ 0.06
CI 一致指数(全体值)	84.6	83.7	▲ 0.9	

景況ダイジェスト(令和7年5月)

対象	資料名 公表機関 対象期間等 公表日				内 容			
	県内金融経済概況 日本銀行秋田支店					のの、緩やかに		
	令和7年5月26日公表		増加している					いる。公共投資 高めの水準なが
		・生産は、弱の・雇用・所得		:っている。 かに改善して	いる。			
	県内経済動向調査結果 産業政策課 令和7年3月分					けつつも、緩や みの動きとなっ		いるほか、製造
	令和7年5月23日公表		ー 動きとなって	いる。			り、全体とし	てはやや上向き
		小売業:	やや上向きの	か月連続で前 ⁴)動きとなって :となっている	いる。	った。		
県			I値を前月と	比較すると、3	か月前との業		から1.4、現在	王の資金繰りは◢
内	あきた経済 一般財団法人秋田経済研究所 令和7年3月分	〔概況〕県内	経済は、全体	として回復の	動きが足踏み	している。		
	令和7年5月号	設は、住宅着:	エが前年を上	回ったが、公	共工事は前年			が続いている。 として回復の兆
	HOKUTO経済調査レポート	がみられる。〕						
	北都銀行 令和7年6月号					が残る県内経済		住宅着工戸数が
		年を上回る動 か、自動車販	きとなり底堅 売は持ち直し には求人提出	さも見られま の動きが続い	す。個人消費 ています。こ	は小売業主要業 の間、生産活動	態販売額が前 では一部に減	年を上回ったほ 少が続く業種が 直しの動きに足
	秋田県内の雇用情勢 秋田労働局職業安定部 令和7年4月分	る。		」求人倍率(受 6倍、前月と同		整値)は1.23倍	。前月比0.02	ポイント下回
	令和7年5月30日公表					有効求職者数	(同) は2.6%	増加した。
		② 有効求人数③ 新規求職者	なは19,550人、 お数は5,286人	,前年同月比▲ 、、前年同月比	▲4.3%(886) 2.0%(106人)減少。同比9点 人)減少。同比2)増加。同比4点 人)増加。同比8	9か月連続の源 か月ぶりの増加	或少。 ^口 。
	秋田県企業倒産状況 (株)東京商エリサーチ秋田支店	(負債額1,000万円以	(上の企業倒産) 前年同月比	倒産件数	9件 125. 00%	負債総		00万円 73. 68%
	令和7年5月度 令和7年6月3日公表	Ī	前年同月		4件	としては過去1	2億9	00万円
	lt to 1- # # # E	7. 观天市杣事:	来日07时庄18					d= 34 115 5F
	情報収集結果 秋田県中小企業団体中央会	3月分	D I	業界全体 ▲ 42.0	製造業 ▲ 59.	非製造業 1 ▲ 28.6	売上高 ▲ 24.0	収益状況 ▲ 40
	令和7年4月分	4月分		▲ 42.0 ▲ 42.0	▲ 50.	_		
	令和7年5月13日公表	比較均	曽減	0.0	9.			
	秋田県内の公共工事動向	対前年度増減				7 <i>5</i> 4 5		単位:百万円)
	東日本建設業保証株式会社 秋田支店	区分 発注者	<u> </u>			7年4月 ┃ 請負金額		度増減率(%)
	秋田文店 令和7年4月分	第注 有	<u>1午剱</u> 37	請負金額 11,947	件数 1		件数 ▲ 48.6	請負金額 ▲ 84
	令和7年5月15日公表	独立行政法人等	4			4 481	0.0	
		県	155					47
		市町村 地方公社	100		10	8 15,136 0 0		104
		での他※	5			3 6,910		▲ 13
		合 計	301		30		0.0	
				立行政法人等、₺	——— 也方公共団体、 ¹	地方公社を除く国	 土交通大臣が指	 定する
		指定公共工	尹光辻石					

	県内経済情勢報告	項目	1		-	 力突			
	財務省東北財務局	総括判断	内容 内容						
	秋田財務事務所	個人消費							
	令和7年4月分	生産活動							
	令和7年4月30日公表	<u>工程/日期</u> 雇用情勢	横ばいの状況にある						
	[3407年47]00日五弘	設備投資	6年度は増加見込み						
県		企業収益							
			「下降」超に転じている						
			宅建設 前年度を上回っている						
内		公共事業 前年度を上回っている							
	秋田県内全国企業短期経済観測調査結果		<u> </u>	6年	7年		7年		
	日本銀行秋田支店		がん 6ポイント	12月	3月	変化幅	7 年 6月(予測)	変化幅	
	令和7年3月調査		<u>ロハーフィーー</u> 崔 業	5	7	<u> </u>		<u> </u>	
	令和7年4月1日公表		製造業	▲ 4	4	8		<u> </u>	
	747年771日五数		夜 	9	8	<u> </u>	2	<u> </u>	
	管内の経済動向								
	東北経済産業局	全体の動向:緩やかに持ち直している							
	令和7年3月分	鉱工業生産:持ち直しの動きがみられる							
	令和7年5月21日公表	職工業主度: 行ら直との割さがかられる 個人消費: 改善の動きに足踏みがみられる							
	7741年3月21日公衣	個人用貨:以苦の期でに足踏みかみられる 住宅着工:3か月ぶりに前年同月を上回った							
			モ宿工:3か月ふりに削牛向月を工凹つに 共投資:2か月ぶりに前年同月を下回った						
			とのでは、現立を表現した。						
東		雇用:有効求人倍率は前月と比べ上昇 企業倒産:倒産件数は前年同月を下回った							
	 管内経済情勢報告	近美倒産:倒産件数は削牛向月を下凹った 内容							
	財務省東北財務局			. Z		7谷			
北	財務自果礼財務向 令和7年4月分	総括判断 持ち直している 原名に向けたことが終めかになっている							
''	令和7年4月30 令和7年4月30日公表	個人消費 回復に向けたテンポが緩やかになっている 生産活動 持ち直しつつある							
	节和7年4月30日公衣	生度活動 持ち直しつつめる							
		産用情勢 緩やかに持ち直している 設備投資 6年度は増加見込み							
		設備投資 0年度は増加見込み							
		近条収益 10年度は増益見込め							
		住宅建設 前年を上回っている							
		公共事業 前年度を上回っている							
	月例経済報告								
	内閣府	景気は、緩やかに回復しているが、米国の通商政策等による不透明感がみられる。							
	1. 1101/13	 個人消費:消費者マインドが弱含んでいるものの、雇用・所得環境の改善の動きが続く中で、							
	令和7年5月		当人付負 : 付負者 マイン Fが割合ん C いる 0 0 0 0 、 雇用 * 所						
	令和7年5月22日公表	- 加供机容,特							
	市和7年3月22日公衣		设備投資:持ち直しの動きがみられる は空建設: おおむわ様げいとなっている						
			主宅建設:おおむね横ばいとなっている						
		公共投資:底堅く推移している							
		輸出:このところ持ち直しの動きがみられる							
			・サービス収支:赤字となっている						
全			企業収益: 改善している						
		業況判断:このところおおむね横ばいとなっている							
		倒産件数:おおむね横ばいとなっている							
玉		雇用情勢:改善の動きがみられる							
		国内企業物価:緩やかに上昇している							
		消費者物価:	肖費者物価:上昇している						
		失行キにつ	ハイけ 屋田	・所得理性のか	7 善わ久話西4	金の効果が經	わかた同復去	ちァスニ レが即	
		先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期 待されるが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクが高まっている。加えて、物価上							
		昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響なども、我が国の景気を下							
		押しするリスクとなっている。また、金融資本市場の変動等の影響に一層注意する必要がある。							
	全国企業短期経済観測調査結果		川断 D I]	〈大企			企業〉	全規模合計	
	日本銀行調査統計局		6ポイント	製造業	非製造業	製造業	非製造業	全産業	
	令和7年3月調査分		/ 12月	14	33	1	16	15	
	令和7年4月1日公表	7年		12	35	2		15	
		変	化幅	▲ 2	2	1	0	0	